



大地申  
第28号

7月19日交渉

## 「運転士による車掌業務の一方的な運用

## 拡大」に伴う緊急申し入れ交渉を行う！ **その③**

小山運輸区の皆が実感する「要員不足の現実」に対する

## 大宮支社の回答は…

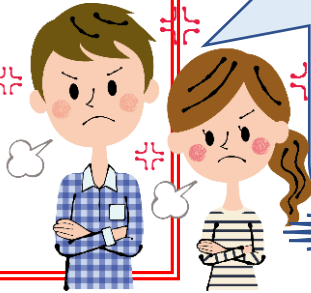
# 「必要な要員は確保している」



### 《7月勤務発表時の現実(車掌)》

年休申込	157件
時季指定	12件
時季変更	145件

(ほぼ時季変更権行使の数)



●「夏休みの計画も立てられない」「子供の学校行事に出られない」「生活設計が成り立たない」「地獄のような職場だ」  
■「どうせ年休入らないなら、休日出勤は受けない」「複数申し込んだ年休が1つも入らない」  
▲「何が健康経営だ」「明けや休みでも当直から電話がかかってくる」

### こんな現実許せるか！

**組合:** 「必要な要員は確保している」との回答の根拠を示すべきだ。会社は列車の運休を出してないことで要員は確保しているということか？

**会社:** 「運営ができている事を踏まえて要員は確保できている」と総合的に判断して回答した。厳しい状況という認識は一致できる。」

### 《会社の相互運用の目的》

2024年度の大宮支社年次計画において、「社員一人ひとりの成長と参画」を実現し、「活躍フィールドの拡大」と「一人ひとりの働きがいの創出」を目指して、社員がこれまでの役割分担に縛られず、能力を最大限に発揮できる機会を創出します。そのため、相互運用(運転士による車掌業務)を開始します。

運休を出さない「鉄道オペレーション」は上手いっても、

## 「社員オペレーション」は完全に大失敗だ！



会社の目的と現実があまりにも乖離している！相互運用で車掌の穴埋めしたい思惑が透けて見える…！

大宮地本はみなさんの苦しい声を訴えます！

団体交渉で堂々と会社と向き合い、議論します！